

## 第五屆 臺灣大學・名古屋大學研究生論文發表會 「零至無限大——日本研究的可能性」



2018年6月23日第五屆臺灣大學・名古屋大學研究生論文發表會「零至無限大——日本研究的可能性」於臺灣大學文學院會議室舉行。

2018年6月23日、第5回台湾大学・名古屋大学研究生論文発表会「ゼロから無限大へ—日本研究の可能性—」を台湾大学文学院会議室で開催した。

名古屋大學超域文化社會中心的星野幸代教授於開幕式致詞中，回顧過去四年來兩校持續共同舉辦研究生論文發表會，並為本

開會式では、名古屋大学超域文化社会センター教授によって、過去4年間に両学が共同して行った研究生論文発表会を振り返り、また今回の発表会が順調に進むことを願って挨拶が行われた。名古屋大学超域文化社会センターは「アジアの中の日本文化」研究センターを継承し、4月から新たに開設された。新たなセンターとして、東アジアにおける日本

2018  
6月23日(六)  
臺灣大學  
文學院會議室

第五屆  
臺灣大學・名古屋大學  
研究生共同發表會  
零至無限大——日本研究的可能性

名古屋大學  
高松世津子 / 元寇新編と舍利信仰—定山山隠修舍利と戦国舍利信仰—  
木村美香 / 戦時下における日本海軍の高麗兵宣伝  
朴 景淑 / 「不・無・非・未」の否定の意味と程度性について  
田 泰美 / 製作委員会方式から見る日本のメディアミックスシステムの変遷  
谷川 信 / 明治・大正期における夢官小説と志賀重昂の夢小説について  
鄭 穎 / 孫子と毛のから聞えぬもの—吉原信子の「花柳橋」の変遷と受容について

臺灣大學  
黃庭碩 / 天下・佛國：從9-10世紀東亞世界看英越國的政治二重性  
陳培真 / 從海峽殖民地到最後清算，初探荷屬時代末期之台灣與日商貿易的轉變  
陳玉蓉 / 移殖殖民的結局：日本二戰終戰後的戰爭畫家研究  
謝淑欣 / 後生學脈下的「民族」——二戰中日人口政策中的觀察  
陳婉諭 / 村上春樹作品における記号としての「渡辺昇」「ワザ子ベ・ゾボル」  
—短編集「パン屋再襲撃」における四つの作品を中心に—

報名網址：[http://cjs.ntu.edu.tw/news\\_20180623.html](http://cjs.ntu.edu.tw/news_20180623.html)  
主辦 | 臺灣大學日本研究中心 / 名古屋大學超域文化社會中心



# 第5回 台湾大学・名古屋大学研究生論文発表会 「ゼロから無限大へ—日本研究の可能性—」

2018.06.23

14



▲星野幸代教授致詞



▲中心主任林立萍教授閉幕謝詞



屆第五次能順利舉辦，表達了欣喜之意。名古屋大學超域文化社會中心繼承過去「亞洲中的日本文化」研究中心，於4月重新起航，期望對東亞與日本研究的發展有所助益。

兩校研究生的11篇論文發表，以歷史、媒體、語言、性別等不同領域為題發表，在熱切地討論與交流中順利進行，收穫滿載。

最後由本中心主任林立萍教授致閉幕謝詞。藉由本次發表，得知年輕世代研究生們所關心的研究議題的同時，也相信研究生透過發表的整理與經驗定能成為未來學位論文的助力。透過兩校的交流，不僅促進教師及學生間橫向的研究連結，也肯定了研究生發表會的價值，並表示未來將持續舉辦。◆

研究の発展に貢献したいと願っているとのことであった。

両学の研究生によって、11本の論文発表が行われた。歴史・メディア・言語・ジェンダー等、異なる領域のテーマのもと、活発な討論や交流がされ、研究生にとっては収穫が多いものになった。

最後に、本センター主任の林立萍教授による閉幕の挨拶が行われた。今回の発表会で、若い世代の大学院生が関心を持っているテーマを知ることができたと同時に、学生にとっては発表の経験が将来学位論文の執筆に役立つものになったと確信している。さらに、今回は教師と学生の研究の繋がりが見出されただけでなく、本発表会が有意義と認識され、今後も本発表会が末永く続くよう願っていると述べられた。◆



第五屆 臺灣大學・名古屋大學研究生論文發表會  
「零至無限大——日本研究的可能性」

15

第五屆 臺灣大學・名古屋大學研究生論文發表會 議程

論文發表①

發表者：高松世津子（名古屋大學人文學研究科博士班一年級）

講題／テーマ：元寇祈禱と舍利信仰—室生山埋納舍利と叡尊舍利信仰—

評論人／コメンテーター：徐興慶（中國文化大學外國語文學院院長兼臺灣大學日本研究中心執行委員）

發表者：黃庭碩（臺灣大學歷史系博士候選人）

講題／テーマ：天下秩序的表與裏：從 10 世紀東亞世界看吳越國的政治多面性

評論人／コメンテーター：徐興慶（中國文化大學外國語文學院院長兼臺灣大學日本研究中心執行委員）

發表者：陳瑤真（臺灣大學歷史系博士班二年級）

講題／テーマ：熱蘭遮城倉庫的最後清單，初探荷蘭時代末期之台灣與日蘭貿易的轉變

評論人／コメンテーター：田世民（臺灣大學日本語文學系副教授）

論文發表②

發表者：朴景淑（名古屋大學人文學研究科博士候補研究員）

講題／テーマ：「不・無・非・未」の否定の意味と程度性について

評論人／コメンテーター：林慧君（臺灣大學日本語文學系教授）

發表者：田泰昊（名古屋大學人文學研究科博士班二年級）

講題／テーマ：製作委員会方式から見る日本のメディアミックスシステムの変遷

評論人／コメンテーター：梁蘊嫻（元智大學應用外語學系助理教授）



▲論文發表① 主持人胡潔教授



▲論文發表② 主持人田世民教授

# 第5回 台湾大学・名古屋大学研究生論文発表会 「ゼロから無限大へ—日本研究の可能性—」

2018.06.23

16

## 論文発表③

発表者：木村美幸（名古屋大学学振特別研究員）

講題／テーマ：戦時下における日本海軍の志願兵宣伝

評論人／コメンテーター：田世民（台湾大学日本語文学系副教授）

発表者：陳昱君（台湾大学国家发展所硕士班二年级）

講題／テーマ：彩管報國的結局：日本二戰終戰後的戰爭畫畫家究責

評論人／コメンテーター：甘懷真（台湾大学历史学系教授兼日本研究中心执行委员）

発表者：郭昶欣（台湾大学国家发展所硕士班二年级）

講題／テーマ：優生學路徑下的「民族」——二戰中日人口政策中的觀察

評論人／コメンテーター：胡潔（名古屋大学人文科学研究科教授）

## 論文発表④

発表者：鄒韻（名古屋大学人文科学研究科博士班三年級）

講題／テーマ：語りえぬものから聞きえぬもの—吉屋信子の『花物語』の変遷と受容について

評論人／コメンテーター：范淑文（台湾大学日本語文学系教授）

発表者：谷川信（名古屋大学人文科学研究科硕士班二年级）

講題／テーマ：志賀直哉「正義派」・「出来事」における生と死

評論人／コメンテーター：范淑文（台湾大学日本語文学系教授）

発表者：陳婉渝（台湾大学日本語文学系硕士班一年级）

講題／テーマ：村上春樹作品における記号としての「渡辺昇」「ワタナベ・ノボル」  
—短編集『パン屋再襲撃』における四つの作品を中心に—

評論人／コメンテーター：星野幸代（名古屋大学超域文化社会中心教授）



▲論文発表③ 主持人甘懷真教授



▲論文発表④ 主持人Nathan HOPSON教授